

平成 27 年度  
事業報告書

島根県西部視聴覚障害者情報センター

平成 28 年 3 月 31 日 現在

## 1 施設名称

島根県西部視聴覚障害者情報センター（開設 平成 12 年 4 月 1 日）

## 2 所在地

浜田市野原町 1826-1 いわみーる 2 階

## 3 事業計画の達成状況

### 『利用者の拡大』

実行計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・各市町の福祉窓口にセンターのパンフレットや利用案内（墨字・点字・録音）、広報用チラシを送付し、身体障害者手帳の申請時等にセンターの紹介と適切な資料の配布を依頼する。</li><li>・県の広報媒体を使ってセンターの業務内容の周知を図るよう依頼する。</li><li>・各市町、各市町社会福祉協議会の広報紙及びホームページにセンターの紹介記事を掲載するよう依頼する。</li><li>・国や県の機関、公共施設、社会福祉施設、眼科医等を訪問し、来訪者へセンターの広報用チラシを配布するよう依頼する。</li><li>・センターが参加するイベントで広報用チラシを配布する。</li><li>・センターのホームページで施設情報を発信する。</li><li>・新たな手話動画を制作し、ホームページに掲載する。</li><li>・スカイプを使った中継リレーサービスの試行を継続し、有効性が確認されれば、県と本格実施に向けた協議を行う。</li><li>・シネマ・デイジー製作の可能性を検討する。</li></ul>
評価
<p>1 センターの業務内容の周知</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・管内の住民にセンターの存在及び業務内容の周知を図るため、各市町（吉賀町は社会福祉協議会）にセンター広報チラシの全戸配布を依頼し、川本町は全戸回覧、その他の市町は全戸配布が行われた。</li><li>・浜田市に広報紙へのセンター紹介記事の掲載を依頼し、11月号に掲載された。 ※浜田市及び益田市のホームページには、センターの紹介記事が掲載してある。</li><li>・県の広報媒体による周知を依頼し、5月に県広報テレビ番組「情報広場 もっと×もっと しまね」でセンターが紹介された。</li><li>・管内各市町の身体障害者手帳交付窓口にセンターの利用案内（墨字、点字、録音）、パンフレット等を配布し、手帳交付時にセンターを紹介するとともに、障がいに応じた適切な利用案内等を渡してもらうよう依頼した。</li><li>・国や県の機関、公共施設、病院、金融機関、福祉施設、商店等 81 事業所を訪問し、その関</li></ul>

係先を含め 87 事業所にセンター広報チラシを配布した。

- ・上記のうち 36 事業所に従業員へのチラシ回覧、70 事業所に来客へのチラシ配布を依頼した。
- ・「浜田市健康福祉フェスティバル」、益田市の「福祉ゾーンふれあいまつり」、「障がい者の権利を考えるつどい」、「窓口での聞こえにくい・聞こえない人とのコミュニケーション講座」等においてセンター広報チラシを配布した。
- ・平成 28 年 3 月 31 日現在の管内の個人利用登録者数は、視覚障がい者 295 人（本年度当初比 3 人増）、聴覚障がい者 65 人（本年度当初比 1 人減）となった。
- ・管内個人利用登録者数の視聴覚障がい者数に占める割合は、視覚障がい者 30%、聴覚障がい者 4%である。

2 ホームページを通した施設情報の発信

- ・情報発信を強化するため、毎月 1 回以上、当センターのホームページを更新した。

3 新たな手話動画の制作

- ・5 月に新たな手話動画「しまね防災メールの登録方法」を制作し、ホームページに掲載した。

4 インターネットテレビ電話を使った中継連絡サービスの試行

- ・試行協力者 2 名に Web カメラを貸与し、試行を開始した。

5 シネマ・デイジー製作の検討

- ・先行して製作している日本ライトハウス情報文化センターから聞き取り調査を実施した。

## 『関係機関・団体との連携』

### 実行計画

- ・7 月上旬に事業推進会議を開催し、障害者差別解消法の施行（平成 28 年 4 月 1 日）に向けた行政の対応を主な議題として意見交換等を行う。
- ・9～11 月に各市町を訪問し、事業推進会議で取り上げられた課題のフォローアップ、平成 28 年度における新たな取組等について意見交換を行う。
- ・必要に応じて浜田ろう学校、全視情協島根あさひ事業所、各市町社会福祉協議会等を訪問し、意見交換を行う。

### 評価

1 関係機関・団体との情報交換

- ・7 月 14 日に県障がい福祉課及び管内各市町障がい福祉担当課の担当者の参加を得て事業推進会議を開催し、当センターの課題や取組を説明して意見聴取と協力依頼を行うとともに、国の障がい者施策の動向、障害者差別解消法の施行に向けた対応を始めとする県と各市町の取組について情報交換を行った。
- ・管内の市町、浜田ろう学校、全視情協あさひ事業所等を訪問し、意見交換を行った。
- ・6 月 19 日に開催された聴覚障害者情報センター運営会議に参加し、事業の状況や聴覚障が

い者を巡る課題等について情報を共有した。

2 課題解決に向けた取組の促進

- ・5市町（浜田市、益田市、川本町、美郷町、吉賀町）を訪問し、協議を行った。

『各種ボランティアの養成・確保』

実行計画

- ・県の広報媒体を使って各種ボランティア募集の周知を図るよう依頼する。
- ・各市町の広報紙及びホームページにボランティア募集記事を掲載するよう依頼する。
- ・退職予定の教職員、公務員へボランティア募集チラシを配布するよう依頼する。
- ・国や県の機関、民間団体、企業等を訪問し、ボランティア募集チラシの従業員回覧や来訪者配布を依頼する。
- ・養成講習修了者を対象としたスキルアップ講習会を定期的開催する。
- ・ボランティアグループの自主的勉強会に職員を派遣し、スキルアップを支援する。
- ・センター独自の指導者認定制度の創設を引き続き検討する。

評価

1 ボランティア募集の周知

- ・管内の住民にボランティア募集の周知をするため、各市町（吉賀町は社会福祉協議会）にボランティア募集チラシ（センター広報チラシの裏面）の全戸配布を依頼し、川本町は全戸回覧、その他の市町は全戸配布が行われた。
- ・浜田市のホームページにボランティア募集の記事が掲載された。
- ・本年3月退職予定の公務員（教職員、県職員、浜田・益田・江津市職員）へボランティア募集チラシの配布を依頼した。
- ・点訳・朗読奉仕員養成講習会について浜田市、益田市、大田市、江津市の各広報紙に、テキストデータ編集ボランティア養成講習会について浜田市、益田市、江津市の各広報紙に、デジタイズ編集ボランティア養成講習会及び障害者パソコンボランティア等養成講習会について浜田市、益田市の各広報紙に、それぞれ受講者募集の記事が掲載された。

2 スキルアップ講習の継続的な実施

- ・点訳ボランティアのスキルアップ講習を毎偶数月に実施した。
- ・朗読ボランティアのスキルアップ講習を3月に実施した。

3 ボランティアグループの自主的な勉強会への職員の派遣

- ・3つの点訳ボランティアグループの自主的な勉強会へ職員を派遣した。（2グループは毎月1回、1グループは年1回）
- ・2つの朗読ボランティアグループの自主的な勉強会へ職員を派遣した。（毎月1回）
- ・本年度、新たに2つの朗読ボランティアグループから派遣依頼があり、各1回派遣した。

4 センター独自の指導者認定制度の創設

- ・各市町における独自の点訳・朗読奉仕員養成の動きを見ながら検討することとした。

## 『意思疎通支援者等の養成・確保』

実行計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社会福祉協議会等が行う同行援護従事者及びガイドヘルパーの養成研修に職員を講師として派遣する。</li><li>・ 各地域で活動する点訳・音訳奉仕員の養成・確保について、各市町、ボランティア団体等と今後の対応を協議する。</li><li>・ 市町が実施する手話奉仕員養成講習に対して人的な支援（講師派遣、相談等）を行う。</li><li>・ 手話通訳者及び要約筆記者の養成講習について、西部地域の実情に配慮して実施するよう県、聴覚障害者情報センター等に働き掛ける。</li></ul>
評価
<ol style="list-style-type: none"><li>1 同行援護従事者等養成研修への支援<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県の同行援護従事者養成研修に歩行訓練士の資格を有する職員を講師として派遣した。</li></ul></li><li>2 点訳・音訳奉仕員の養成・確保に向けた協議<ul style="list-style-type: none"><li>・ 7月14日に開催した事業推進会議及び各市町個別訪問において、平成28年4月の障害者差別解消法の施行に向け、各市町でも独自に点訳・音訳奉仕員の養成に取り組むよう要請した。</li></ul></li><li>3 手話奉仕員養成講習への支援<ul style="list-style-type: none"><li>・ 浜田市手話奉仕員養成講座及び浜田市手話奉仕員登録者学習会に手話通訳士の資格を有する職員を講師として派遣した。</li></ul></li><li>4 西部地域に配慮した手話通訳者及び要約筆記者の養成講習の実施<ul style="list-style-type: none"><li>・ 平成27・28年度は、手話通訳者養成講習会が大田市で、要約筆記者養成講習会が松江市で開催されることになった。</li></ul></li></ol>

## 『職員の専門的能力の育成』

実行計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 資格取得が次第に難しくなっている点字指導員及び音訳指導員について、引き続きOJTを実施し、指導員資格認定講習を受講できるレベルへの到達を目指す。</li><li>・ 全国視覚障害者情報提供施設協会、中国四国点字図書館連絡協議会等が主催する研修会に職員を派遣する。</li><li>・ 外部人材を積極的に活用して年間6回の所内研修を行い、視聴覚障がい者を取り巻く社会状況、社会福祉制度、日常生活用具等について理解を深める。</li></ul>
評価
<ol style="list-style-type: none"><li>1 点字・音訳指導員資格認定講習の受講に向けたOJTの実施<ul style="list-style-type: none"><li>・ 点字指導員及び音訳指導員の資格取得に向けて、引き続き職員2名のOJTを実施した。</li><li>・ 11月に開催された音訳指導技術認定講習会に職員1名を派遣し、その後、提出した課題に</li></ul></li></ol>

<p>合格して音訳指導員の資格を取得した。</p> <p>2 関係団体主催の講習・研修への職員の積極的な派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体主催の5つの講習・研修へ職員を派遣した。</li> </ul> <p>3 所内研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間6回の所内研修を計画し、計画どおり実施した。</li> </ul>
---

## 『視覚障がい者の ICT 活用の支援』

実行計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度な ICT 活用技術を有する視覚障がい者から職員が直接的に技術伝授してもらう研修機会を設ける。</li> <li>・視覚障がい者 ICT 活用技術に特化したパソコンボランティア養成講習会を開催する。</li> <li>・様々な機会を通して視覚障がいの利用者に情報機器の利用を呼び掛け、そのための講習会を開催する。</li> <li>・情報機器が使用できない利用者に対して、センターがリクエストに応じて「サピエ」等から情報をダウンロードして提供する。</li> </ul>
評価
<p>1 視覚障がい者の ICT 活用技術に特化したパソコンボランティア養成講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者パソコンボランティア等養成講習会を視覚障がい者支援に特化した内容で開催した。(11月20日～12月18日 全5回、いわみーる)</li> </ul> <p>2 視覚障がい者の ICT 活用支援に関する職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の障害者パソコンボランティア等養成講習会に職員2名を参加させるとともに、3月に同職員2名を対象として視覚障がい者パソコン利用等実技研修を実施した。</li> </ul> <p>3 利用者への情報機器利用の呼び掛けと講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者団体の会議で視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の利便性等を紹介した。</li> <li>・利用者からの求めに応じてパソコンボランティアを8回派遣した。</li> </ul> <p>4 情報機器が使用のできない利用者への情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者からのリクエストに応じて「サピエ」から点字データ、デイジーデータをダウンロードし、それぞれ点字図書、録音図書にして貸し出した。</li> </ul>

## 『機器情報の提供』

実行計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者向け新聞・雑誌、インターネット、メーカー等から最新の機器情報を収集し、利用者に提供する。</li> <li>・管内3箇所で開催機器展示相談会を開催し、展示用補装具・日常生活用具やメーカー出展の最新機器等により来場者への紹介、試用等を行う。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の許す限り展示用補装具・日常生活用具等の更新を行う。</li> </ul>
<b>評価</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 最新の機器情報の収集・提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット、メーカーへの照会等により最新の機器情報を調査・収集し、相談のあった利用者等へ提供した。</li> </ul> </li> <li>2 機器展示相談会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間3回の機器展示相談会の開催を予定し、開催希望が多かったため5回開催した。</li> </ul> </li> <li>3 展示用補装具・日常生活用具等の更新 <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者用11点、聴覚障がい者用3点の最新の機器・用具を購入した。</li> </ul> </li> </ol>

### 『地域貢献活動等の実施』

<b>実行計画</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や団体の福祉学習を積極的に引き受けるとともに、浜田市健康福祉フェスティバルに参加し、児童生徒や住民の視聴覚障がいへの理解を促進する。</li> <li>・希望する官公庁や銀行、病院等へ出向き、窓口職員を対象として「窓口での聞こえにくい・聞こえない人とのコミュニケーション講座」を実施する。</li> <li>・平成27年度版「障害年金ガイド」の点字版及び音声版を製作し、日本年金機構に提供する。</li> <li>・地域住民を対象とした人権講演会を開催する。</li> </ul>
<b>評価</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業団地域貢献活動支援制度の積極的な活用と関係者への協力依頼 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度4件の地域貢献活動の実施を予定し、ほぼ計画どおり実施した。</li> <li>・すべての地域貢献活動においてボランティア、視聴覚障がい者、関係団体等の協力を得て実施した。</li> </ul> </li> <li>2 福祉学習の積極的な引受けと浜田市健康福祉フェスティバルへの参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉学習4件（県立瀬摩高校、浜田市立原井小学校・雲雀丘小学校・長浜小学校）、施設見学等2件（岡山県高梁市・成羽手話サークル、益田市障害者福祉センターあゆみの里）を引き受けた。</li> <li>・10月18日に開催された浜田市健康福祉フェスティバルに参加し、来場者83名に点字と手話の体験の機会を提供した。</li> </ul> </li> <li>3 「視覚障がい者対応研修」の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管内の団体からの要望に応じて、新たな地域貢献活動として「視覚障がい者対応研修」を実施することとし、1事業所において2回実施した。</li> </ul> </li> <li>4 「窓口での聞こえにくい・聞こえない人とのコミュニケーション講座」の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間8回の実施を計画し、4事業所において7回実施した。</li> </ul> </li> <li>5 平成27年度版「障害年金ガイド」の点字版及び音声版の製作・提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に点字版を、7月に音声版を各500部製作し、日本年金機構に提供した。</li> </ul> </li> </ol>

6 地域住民を対象とした人権講演会の開催

- ・ 県及び浜田市との共催で11月15日にいわみーるにおいて「障がい者の権利を考えるつどい ～障害者差別解消法の施行をひかえて～」を開催し、151名の来場があった。
- ・ 上記の関連事業として1月9日にいわみーるにおいて映画「ゆずり葉」バリアフリー上映会を開催し、48名の来場があった。

『島根あさひ社会復帰促進センターの活用』

実行計画

- ・ 平成25年度に図書のテキストデータ化に取り組むよう働き掛け、音訳科の履修科目に入ったことから、今後、訓練の一環として、出荷できるだけの品質のテキストデータ（テキストデイジー図書の半製品）を製作するよう働き掛け、体制整備の協力を行う。

評価

- ・ 音訳科で図書のテキストデータ化作業が行われるようになり、これを利用してテキストデイジー図書の製作を開始した。



### 1 点字図書館利用状況

ア 新規利用登録者数 11名/団体(個人 5 団体 6) 利用登録者数 847名/団体(西部地域個人 295名)

イ 図書整備状況

(タイトル)

点字図書			録音図書						テキストデージー図書	
			カセット			CD				
製作	受入れ	蔵書	製作	受入れ	蔵書	製作	受入れ	蔵書	製作	蔵書
125	1	6059	129	0	3870	131	104	6067	34	34

ウ 図書貸出し状況

(タイトル)

点字図書			録音図書					テキストデージー図書	
			カセット		CD				
自館図書	他館図書	ダウンロード	自館図書	他館図書	自館図書	他館図書	ダウンロード	自館図書	ダウンロード
479	639	12122	1773	20	16047	5828	48209	0	1669

エ 録音雑誌製作・貸出し状況

(タイトル)

製作		貸出し				
		カセット		CD		
カセット	CD	自館製作	他館製作	自館製作	他館製作	ダウンロード
50	49	548	178	1942	2208	9282

オ 利用者とボランティアのつどい(参加者数)

利用者	ボランティア	その他	計
29	37	9	75

※3月6日開催

カ プライベートサービス(個人の依頼による情報提供サービス)

	点字	録音	代読	代筆	拡大	その他	計
延利用者数	2	14	27	81	3	48	175

キ 点字サービス

	市町依頼	団体依頼
回数	1	9
延部数	1	49

ク 録音サービス

	団体依頼
回数	39
延巻数	676

ケ あさひ職業訓練事業

	回数
点訳指導	1
音訳指導	7

### 2 聴覚障害者情報ライブラリー利用状況

ア 新規利用登録者数 8名/団体(個人 8 団体 0) 利用登録者数 433名/団体(西部地域個人 65名)

イ ビデオ整備・貸出し状況(タイトル)

所蔵	貸出し
2061 (DVD 367、ビデオ 1694)	146 (DVD 141、ビデオ 5)

ウ 中継連絡サービス

回数 2回

エ 利用者来館

来館者数 24名

オ セミナー&交流会

参加者数 22名(利用者 5名 その他 17名) ※8月2日開催

カ 手話通訳

件数 12件

キ 手話奉仕員養成協力

件数及び回数 2件 2回

### 3 地域生活支援事業

ア 点訳・朗読奉仕員養成事業

	会場数	回数	参加者数	修了者数
点訳奉仕員養成講習	2	42	延203	9
朗読奉仕員養成講習	2	33	延65	4
広報音訳奉仕員養成講習	1	3	延8	2

イ 点訳・朗読奉仕員技術講習会

	回数	参加者数
点訳技術講習	25	延212
朗読技術講習	20	延202

ウ 中途失明者生活訓練等事業

	大田市	邑智郡	江津市	浜田市	益田市	鹿足郡	計
歩行訓練	回数	3	3	3	6	2	18
	実人員	2	2	2	5	1	13
コミュニケーション・日常訓練	回数	8	0	1	22	4	35
	実人員	2	0	1	8	2	13

エ 障害者コミュニケーション・情報化支援事業

	回数	延日数	延人員	実人員
IT講習会	—	—	—	—
訪問講習	8	8	8	1
機器展示相談会	5	5	99	99

オ 障害者パソコンボランティア等養成事業（視覚障がい課程）

回数	延日数	参加者数	修了者数	新規登録者数	※登録者数
1	5	延23	5	3	一般課程 139名 視覚障がい課程 3名

4 市からの受託事業

ア 点字・録音広報発行

	浜田市		益田市		江津市	
	回数	延冊・巻数	回数	延冊・巻数	回数	延冊・巻数
点字広報	—	—	12	192	17	107
録音広報	15	516	—	—	14	177

イ 大田市障害者生活支援事業

	歩行訓練	点字訓練	パソコン訓練	計
回数	0	12	12	24
実人員	0	3	2	5
延人員	0	35	15	50

ウ 浜田市障害者生活支援事業(料理教室)

	回数	実人員	延人員
視覚障がい	22	2	23
肢体不自由		10	89
聴覚障がい		4	28

ボランティア 実人員2名 延人員23名

エ 益田視覚障害者生活支援事業

	歩行訓練	コミュニケーション訓練	日常生活訓練	計
回数	0	13	11	24
実人員	0	2	2	4
延人員	0	23	22	45

5 その他の事業

ア 福祉学習

	施設内（来館）	施設外（派遣）	計	※その他	
件数及び対象者数	4	107	0	0	施設見学等 2件 28名

イ 相談事業

	視覚	聴覚	計
福祉機器	36	15	51
日常生活	4	5	9
進路相談	0	0	0
その他	6	5	11
計	46	25	71

ウ 機器貸出し状況

	視覚	聴覚	その他	計
補装具	4	0	0	4
日常生活用具	2	5	0	7
その他	0	14	0	14
計	6	19	0	25

エ 広報紙「かわらばん」発行

回数	点字版	録音版	ルビ版	計
4	52	577	1914	2543

オ 奉仕員登録者数

点訳奉仕員	朗読奉仕員	デージー編集ボランティア	テキストデータ編集ボランティア	計
302	306	24	8	640

カ デイジー編集ボランティア養成

	回数	延日数	延人員	修了者数
養成講習	1	3	9	3

キ テキストデータ編集ボランティア養成

	回数	延日数	延人員	修了者数
養成講習	1	3	27	8

ク 行事、会議等

名称	開催日	参加数	備考
事業推進会議	7月14日	7機関・団体	

ケ 地域（社会）貢献活動

活動名	実施日	参加者数又は製作数	備考
視覚障がい者対応研修	2月13・22日	45名	1事業所 2回
窓口での聞こえにくい・聞こえない人とのコミュニケーション講座	10月～2月	108名	4事業所 7回
浜田市健康福祉フェスティバル参加	10月18日	83名	点字・手話体験等
障害年金ガイド点字版・音声版の製作・提供	6月・7月	各500部	日本年金機構へ提供
障がい者の権利を考えるつどい	11月15日	151名	地域住民参加者数
映画「ゆずり葉」バリアフリー上映会	12月14日	48名	〃
封筒の点字印字	通年	151790枚	104機関・団体の封筒

6 施設職員の状況

	施設長	事務職員	その他	計
正規	1	4	0	5
常勤	—	2	0	2
非常勤	—	0	0	0
計	1	6	0	7

7 施設における職員研修の開催状況

(1) 施設内研修

研修内容	期日	参加者数	研修内容	期日	参加者数
重点活動方針及びセンター事業計画	5月2日	7	島根県の人権問題の現状と課題	12月15日	6
管内各市町の日常生活用具給付等制度	7月18日	7	雇用分野における障がい者差別禁止	2月4日	5
テキストデイジー等の操作と利用方法	8月27日	6	今年度事業を振り返って	3月24日	6

(2) 委託研修

研修内容	期日	参加者数	場所	委託先
視覚障がい者パソコン利用等実技	3月11・18・25日	2	松江市	ライトハウスライブラリー

(3) 派遣研修

研修会名	開催日	場所	参加者数
中国四国点字図書館長会議、職員・ボランティア研修会	6月2日・3日	岡山市	2
浜田ろう学校早期教育公開研修会	6月22日	浜田市	2
聴覚障がい児の心理臨床に関する講座	8月6日	浜田市	3
音訳指導技術認定講習会	11月11日～13日	東京	1
障害者パソコンボランティア等養成講習会	11月20日～12月18日	浜田市	2
補装具・日常生活用具に関する研修会	11月26日	松江市	1

※ 本部研修及び交流体験研修を除く。